

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
(1) 現 代 に 生 き る 自 己 の 課 題 自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。 (2) 人 間 と し て の 在 り 方 生 き 方 自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。 ア 人間としての自覚 人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。	・将来の進路選択や、自己の生き方を考えるうえでの、困難を乗り越えるために、青年期の特徴を理解する。 青年期の特徴として、第二性徴、第二反抗期、心理的離乳という概念を理解する。 ・自立をする上ではアイデンティティの確立が必要不可欠であり、このことが青年期の発達課題として最も重要であることを知る。 ・アイデンティティ拡散の例として、シンデレラ・コンプレックス、ピーターパン・シンドローム、青い鳥症候群などを理解し、そうならないために、自己理解の必要性を理解する。 ・マズローの欲求階層説などをもとに、人間は自分自身を成長・発展させ、自己実現を図ろうとする欲求を持つことが理解できる。 ・自己理解のために、欲求不満の解消の類型を理解し、自己の無意識の傾向を、アンナ・フロイトの防衛機制を知る。 ・現代社会の課題とともに、自己の生き方を助ける手段として、哲学・宗教などのもつ価値を理解する。 ・古代ギリシャの自然哲学を理解することで、人間の知的営みが神話的世界から論理的世界にどのように移行していったのかを知る。 ・ソクラテスの思想について「無知の知」や「善く生きる」という用語を用いながら理解する。 ・プラトンの思想について、恋愛という観点から、「イデア」という用語を理解する。 ・アリストテレスの思想について、友情という観点から、「フィリア」という用語を理解する。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
イ 国際社会に生きる日本人としての自覚 日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	・異質な他者を理解することの困難さを身に染みて理解するとともに、宗教について現在の問題と照らし合わせながら、理解をする。 ・ユダヤ教の誕生について知るとともに、一神教における預言者の存在と神との契約などの考え方を理解する。 ・イエスの思想について、「神の愛」「隣人愛」などの基本的な概念を理解するとともに、メシア思想を知る。 ・イスラム教の誕生について知り、ムハンマドの言行や「六信・五行」などの理解を通して、ムスリムの日常生活や基本的価値観を理解する。 ・和辻哲郎の風土の考え方から、日本の自然観がモンスーン型の自然観を有していたことを理解し、日本人の受容的・忍従的性格を理解する。 ・古代日本人の性質を「ハレ・ケ」「穢れ」「清明心」などの用語を用いて理解している。 ・日本の通過儀礼の在り方から、日本の文化の在り方を考察する。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
(3) 現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。 ア 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。	・「人間とは何か」という問いについて、宗教改革について学ぶとともに、ルネサンスやモラリストの思想とともに理解する。 ・デカルト以降の近代合理主義の思索を理解する。 ・カントの実践理性の考え方を、他者との共存のための道徳という観点で理解する。 ・人間の主体性・本来性を捉えるために、マルクスの思想を敷衍し、「人間疎外」という用語を理解する。そして主体性の回復のためにどうすればよいのかを考える。 ・ホッブズやロック、ルソーなどの社会契約論の思想を、「自然権」「万人の万人に対する闘争」「抵抗権」「一般意思」の用語とともに理解する。 ・ヘーゲルの弁証法を、問題解決の方法として学ぶとともに、スペンサーの社会進化論への継承により、排除の思想がうまれることを学ぶ。 ・サルトルの「アンガージュマン」の訴えを理解するとともに、自らの社会参加が自己実現につながることを知る。 ・キルケゴールの思想をレギーネとの別れという観点から考察をし、「絶望」という用語が何を指すのかを知る。 ・ニーチェの思想を「力への意思」という用語を用いて理解し、自らが力強く生きていく上で、何が必要かを理解する。 ・ハイデガーの思想を「ダス＝マン」「死への存在」という用語から理解し、自己が本来的な生き方をするのはどうすべきか、理解する。 ・アーレントの思想から、「労働」と「仕事」の違いを知る。また、アイヒマン裁判とソクラテスの「悪法も法」という言葉を対置し、民主社会の在り方を理解する。 ・他者の無限性を知るために、レヴィナスの思想を「顔」という概念を用いて理解する。

学習指導要領	都立山崎高校 学カスタンダード
イ 現代の諸課題と倫理 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。	・多様なメディアを通じて、日々、大量の情報が伝達されている現代の情報社会の現状とその特徴について知り、風評被害などの問題を取り扱いながら、メディア・リテラシーの必要性を知る。 ・グローバル化の進展とともに、文化摩擦や外国人差別の問題が発生していることを、エスノセントリズムの事例に基づき、理解する。